

I 令和2年度 事業報告書

第1 事業の概要

令和2年度は、前年度に引き続き、外国人市民と日本人市民が互いの文化の違いを認め合いながら共存する多文化共生社会の実現に向けて、外国人市民を含む全ての市民や地域を対象に多文化理解推進、外国人市民支援、市民活動支援、情報収集・提供及び調査などの事業を計画・実施したが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染防止を図るために、これまで対面で行っていたイベントや講座を、オンラインでの実施に移行する形で実施することとなった。しかし、語学講座や日本語クラス、災害時通訳研修、通訳ボランティア育成事業での研修等、できる限りオンラインに切り替えて実施した。

これからの社会情勢に合わせてよりよいサービスを提供できるよう、これまでの事業の在り方を見直し、新たな実施方法の検討や試行を試みた1年となった。

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

多文化理解推進事業では、姉妹・友好都市への移動やホームステイを伴う青少年交流事業やオンラインでの実施が困難な交流イベント等は中止せざるを得なかったが、日本語交流会やおしゃべりサークル、語学講座等は、オンラインに移行する等の対策を取ることで多文化共生社会の推進を図る事業を実施した。

(2) 外国人市民支援事業

外国人市民支援事業では、日本語学習支援をマンツーマン日本語交流、各種日本語クラスを文化庁から受託した『生活者としての外国人』のための日本語教育事業等により実施した。また、生活相談、法律相談、留学生交流員事業を実施したほか、災害時外国人支援として、災害時語学ボランティア養成講座や、実際の災害時に備えて「千葉市災害時外国人支援センター」の設置・運営訓練を千葉市と共に実施した。

(3) 市民活動支援事業

市民活動支援事業では、ボランティアの登録・コーディネートを行うとともに、ボランティア向けの日本語交流員研修を実施したほか、国際交流・国際協力活動をしているボランティア団体への助成、オンラインによる「ちば市国際ふれあいフェスティバル」の開催、ボランティアにより運営されている市内の日本語教室とのネットワーク等の事業を実施した。

(4) 情報収集・提供及び調査

情報収集・提供及び調査では、ホームページやフェイスブック等を活用し、千葉市や千葉県、国から出された新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言、発熱時の注意事項、特別定額給付金、千葉市施設の休館情報等を、多言語で迅速に情報発信した。

また、令和2年度中に4回発行された「ちば市政だより臨時号」についても、「千葉市生活情報誌」の臨時号として多言語に翻訳し、情報発信した。

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた事業

千葉市からの受託事業として、「国際交流プラザ運営業務」と「国際交流ボランティア育成事業業務」を実施した。

国際交流プラザは緊急事態宣言の発出に伴い、休館を余儀なくされる期間もあったが、徹底した感染予防対策を行ったことにより、感染者を出さずことなく年度を終了することができた。

「国際交流ボランティア育成事業業務」については、平成27年度から30年度に実施した「通訳ボランティア・スキルアップ講座」の修了者が、受講年度や言語ごとに通訳サービスグループを結成して独自に活動しているため、これらのグループと協働して事業を行った。

(2) 文化庁から委託を受けた「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

外国人向けにレベルや目的に応じた日本語クラスを開催したほか、日本人向けにボランティア研修を実施した。また、令和元年度に作成したオリジナル日本語教材「わたしを伝える日本語」を充実させるために、言語の追加や外国人学習者向けのガイド（動画）を、新規に作成した。

第2 事業内容

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

ア 交流サロン

日本人市民と外国人市民が気軽にふれあい、交流し、情報交換や国際化の理解を深めることができる場を設け、多文化理解の推進を図った。

イベント名等	開催日	内 容 会 場	参加者 () 内外国人
外国人のお父さん お母さんのための おしゃべりサークル	11月11日 12月4日 1月29日 3月19日	保健師・介護士の資格を持つボランティアと協働し、子育てについて相談できる場を提供した。 オンライン	13人 (5人)
にほんごオンライン おしゃべりかい	7月14日 ほか計26日	コロナ禍により国際交流プラザでの日本語交流が困難になった外国人向けに協会職員が司会進行役となり日本語で会話する機会を設けた。 オンライン	52人 (52人)
日本語交流会	10月10日	国際交流プラザや千葉市内の日本語教室等で日本語を学んでいる外国にルーツをもつ6人が日本語によるスピーチを行った。 収録：国際交流プラザ (発表者及び家族、ボランティア等) 配信：YouTube Live	25人 (12人)

イ 青少年交流（市補助）

姉妹・友好都市における市民レベルでの交流を図り、次代を担う青少年がお互いの国の文化や歴史、生活等について理解を深めるため、毎年度、夏休み期間を利用して派遣及び受入を実施しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各姉妹・友好都市と協議した結果、青少年やホームステイ先の安全面を考慮し、中止とした。

ウ 語学講座

国際交流ボランティア活動支援及び育成を図り多文化理解を推進するため、ボランティアや賛助会員を対象に語学サロンを実施した。また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、全講座をオンラインで実施した。

講座名	期 間	時間等	講師	受講者
はじめての韓国語	9月17日～10月22日	2時間×6日	鄭 惠智 (協会職員)	3人
英語サロン（中級）	9月23日～10月28日	2時間×6日	モンカリアノ ゴメス ビアンカ (市職員)	6人
はじめての中国語	10月6日～11月17日	2時間×6日	律 津 (協会職員)	4人
はじめてのスペイン語	11月5日～12月10日	2時間×6日	オルテガ ペレス オルテンシア (協会職員)	4人
中国語サロン（初級）	11月6日～12月11日	2時間×6日	劉 琳 (協会職員)	4人

英語サロン（文化紹介）	11月18日～12月2日	2時間×3日	平井 絵美梨 （協会職員）	6人
はじめての中国語	1月20日～2月24日	2時間×6日	朱 思穎 （協会職員）	2人
英語サロン（初級）	1月7日～2月18日	2時間×6日	平井 絵美梨 （協会職員）	7人

エ 多文化共生推進

(7) 各種イベント等

外国人市民と日本人市民の相互理解の促進による多文化共生を実現し、お互いに住みやすい社会を築いていくために行政、学校、ボランティア、自治会等の地域との連携を図り事業を実施したほか、千葉市や他の関係団体が開催する各種イベントに参加し、多文化共生推進にかかる事業の説明や活動紹介、協会のボランティア制度やその重要性に対する理解促進を図った。また、関係団体等からの調査への協力、会議メンバーとしての参加等により多文化共生社会実現に向けた取組みを進めた。

<多文化共生の啓発>

名 称	開催日	場 所	内 容
千葉市の新規採用職員研修	8月17日 8月20日	市役所	千葉市の新規採用職員研修で、協会事業の説明や、やさしい日本語の活用等についての講義を行った。
東京外国語大学 学生の調査への協力	9月11日	メール	「災害時の多文化共生」に関するアンケート調査に協力した。
小学生からのインタビュー対応	9月26日	国際交流プラザ	「みんなが過ごしやすい街」をテーマとした宿題に対し、外国人への「やさしい日本語」の利用について説明した。
早稲田大学 学生の調査への協力	12月4日 12月11日	国際交流プラザ	千葉市の多文化共生施策についてのインタビューに千葉市国際交流課の職員と共に対応した。
宇都宮大学 学生の調査への協力	1月27日	郵便	「在日外国人の教育問題」に関するアンケート調査に協力した。
千葉大学 学生の調査への協力	3月12日	メール	「難民の方への日本語教育」をテーマとした卒業研究に協力した。

<千葉市やその他団体との連携>

名 称	開催日	場 所	内 容
ベイサイドジャズ実行委員会	7月7日 12月2日	市文化センター	ベイサイドジャズ実施に向けての進捗状況の報告を受け、また次回の開催に向けての協議を行った。
千葉市観光協会 総務企画委員会	5月 12月11日 3月	書面 市文化センター 書面	千葉市観光協会の事業等について、国際交流協会としての意見を述べたほか、情報交換を行った。
「稲毛海浜公園いなげの浜」外国語による園内放送の翻訳・収録	6月5日	国際交流プラザ	園内放送で流す禁止行為の翻訳及び収録（英語、中国語、ベトナム語）に協力した。
しんしゅう多文化共生地域会議（長野県）	7月28日	オンライン	オンライン日本語クラスについて、事例発表を行った。
市営住宅入居説明会	9月10日	市住宅供給公社	市営住宅入居説明会での中国語通訳及び生活のルールについてのアドバイスをを行った。

多文化共生のまちづくり推進に向けた情報共有	10月	書面	千葉市が平成29年に策定した「千葉市多文化共生のまちづくり推進指針」に基づく取組みについての情報共有を行った。
シェアリングエコノミー	10月16日 11月12日 1月7日	メール配信等	千葉市国家戦略特区推進課によるシェアリングエコノミー（ホームステイ、体験提供等）説明会開催の周知等を、協会登録ボランティアへのメール配信や協会Facebook掲載等を行うことにより協力した。
外国人関係機関との懇談会	10月26日	オンライン	千葉県弁護士会が主催した会合に参加し、入管法の改正やコロナ禍における外国人支援等についての情報収集等を行った。
外国人支援者のネットワークの構築に向けた意見交換会	10月28日	オンライン	東京出入国在留管理局が提案した外国人支援者のネットワーク構築に向けて意見交換等を行った。
日本語ボランティア情報交換会	10月28日	オンライン	千葉県国際交流センターが主催した会合に参加し、オンラインの取組事例、WEB教材、これからの日本語教室のあり方等について情報交換等を行った。
「在日外国人支援ネットワーク」への加入	10月29日	オンライン	東京出入国在留管理局が提案した外国人支援者のネットワークへの加入申請を行い、オンラインを通じた情報共有を開始した。
千葉市防災会議 男女共同参画の視点を取り入れる部会	11月	書面	外国人市民の視点から、令和元年台風15号等における災害対応の課題等について意見を述べた。
オンラインでつながる！新たな日本語学習支援を考えよう	11月15日	オンライン	横浜市国際交流協会が開催した研修会に講師として参加し、オンラインを活用した事例紹介を行った。
外国人相談窓口連絡会	11月17日 3月5日	オンライン	東京出入国在留管理局が開催した連絡会に参加し、各外国人相談窓口の取組や事例等について学んだ。
関東地域国際化協会連絡協議会	12月2日	オンライン	関東地域国際化協会連絡協議会（幹事：（公社）かながわ国際交流財団）が開催した会合に参加し、団体の運営や事業についての意見交換を行った。
チーム千葉ボランティアネットワーク実行委員会	12月	書面	2020東京オリンピック・パラリンピックが延期されたことに伴う都市ボランティアのモチベーション維持に向けた施策の報告等に対して書面評決を行った。
都道府県・政令指定都市日本語教育担当者連絡会議	1月14日	オンライン	文化庁が、地域における日本語教育の推進のために開催した連絡会議に出席した。
関弁連管内外国人相談担当者による懇談会	1月29日	オンライン	千葉県弁護士会外国人の権利委員会主催の会合に参加し、意見交換や情報収集を行った。
千葉市まちづくり未来研究所 中間提言報告会	2月6日	オンライン	千葉市の「未来の千葉ライフをデザインする」をテーマに研究を行っている「千葉市まちづくり未来研究所」の報告会に参加し、意見交換等を行った。
外国人市民懇談会	2月27日	中央コミュニティセンター	千葉市国際交流課、雇用推進課、国家戦略特区推進課と共に、「外国人留学生等への就職支援」をテーマに、外国人留学生との意見交換を行った。

8市国際交流協会等連絡協議会	3月	書面	千葉県内の国際交流協会が、コロナ禍への対応や、それぞれが抱えている課題等について情報交換等を行った。
多文化共生社会づくり連絡協議会	3月	書面	千葉県国際課が設置している協議会の構成員間で書面により意見交換等を行った。

<協会事業のPR・ボランティアの獲得>

名称	開催日	場所	内容
生涯現役応援センター講座	8月31日	幕張公民館	千葉市生涯現役応援センター主催の「シニアから始めるボランティア」に出席し、国際交流ボランティアを紹介したほか、協会の活動等の説明を行った。
「定住外国人向けしごとのための日本語」受講者へのPR	10月22日	郵送	一般財団法人日本国際協力センター（JICE）が真砂コミュニティセンター（美浜区）実施する研修の受講者に生活相談のチラシ等の配布を行った。
千葉市民活動フェスタ	11月8日 ～ 12月6日	オンライン 「きぼーる」でも 2日間開催	千葉市民活動支援センターが開催したイベントで、ボランティア制度や当協会の活動についての紹介を行った。
生涯学習指導者基礎研修	11月21日	生涯学習センター	千葉市生涯学習センター主催の市民向け研修「秋からはじめるボランティア！身近な5施設活用術」に参加し、ボランティア活動に関心を持つ市民に対して協会の活動等の説明を行った。
生涯学習ボランティアフェア	11月21日 ～ 11月29日	生涯学習センター	千葉市生涯学習センター主催のイベントで、ボランティア制度や当協会の活動についてのパネル展示等を行った。
第12回全日本アルパコンクール2020&アルパコンサート	12月6日	千葉市文化センター	千葉市で隔年開催されているイベントを後援し、「千葉市国際交流協会賞」を授与した。
ちいき新聞	3月12日	各戸へのポスティング	（株）地域新聞社が発行する「ちいき新聞」に協会PRとイベント告知の記事を掲載した。
ケーブルテレビの番組出演	3月30日 （放送日）	オンライン収録	『「外国人の防災」東日本大震災発生から10年』をテーマにした企画コーナーに出演し、災害時における当協会の対応について説明した。 放送局名 J:COM千葉セントラル （ケーブルテレビ） 番組名 ジモト応援 千葉つながる News

<研修・セミナー等出席>

名称	開催日	場所	内容
配偶者暴力関連スーパービジョン	7月28日 9月29日 10月13日 11月26日 1月20日	中央コミュニティセンター/きぼーる	千葉市子ども家庭支援課主催のDV被害者からの相談に適切に対応し効果的な支援が行えるよう実施された会合に参加し、対応について学んだ。
地域国際化協会職員国内研修会	7月30日	オンライン	「オンラインシステムを利用した講座・相談」をテーマとした研修に参加し、オンラインによる相談やイベント開催の一助とした。

令和元年度発生災害時の外国人支援対応に係る振り返り会	8月6日	オンライン	(一財)自治体国際化協会が開催した会議に参加し、各地の事対応を振り返り、今後の改善策等を検討した。
一元的相談窓口等の相談員を対象とした説明会	10月5日 ～7日 2月2日 ～4日	オンライン	東京出入国在留管理局が実施した在留資格、難民認定、労働相談、人権等についての説明会に参加し、相談員の資質向上の一助とした。
外国人介護人材受入セミナー	10月28日	市生涯学習センター	千葉県介護保険管理課が介護施設の経営者や職員向けに実施したセミナーに出席し、情報収集等を行った。
多文化社会実践研究フォーラム「多文化社会における市民活動を問う」	12月6日	オンライン	(一社)多文化社会専門職機構が開催したフォーラムに参加し、多文化社会の市民活動に求められる視点や意義について意見交換等を行った。
日本語ボランティア入門講座	12月8日 12月15日	オンライン	千葉県国際交流センターが開催した講座に参加し、他団体が行っている取組みについて学んだ。
多文化共生の担い手連携促進研修会～外国人の子育て支援～	12月17日	オンライン	(一財)自治体国際化協会が開催した研修に参加し、外国人の子育て支援に係る他団体の取組や事例について学んだ。
多文化Opinion Exchange	1月8日	オンライン	(一財)自治体国際化協会が開催した研修に参加し、「多様なコミュニティとの繋がりを模索する」をテーマに、受講者間の意見交換等を行った。
災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修・訓練事	1月15日	オンライン	(一財)自治体国際化協会が開催した研修に参加し、過去の災害発生時に行われた被災外国人に対する支援活動の事例検証を行った。
国際理解セミナー「共存」から「共生」へ～外国人住民を交えた地域づくりのすすめ～	1月22日	オンライン	住民の半分以上が外国人である自治会の事務局長を講師に迎えて千葉県国際交流センターが開催したセミナーに参加した。
心の保健医療通訳ボランティア講座	1月27日	千葉県文化センター	相談業務に必要な知見を得るために、千葉県精神保健福祉センターが開催した講座に参加した。
災害時に外国人を誰一人残さない～東日本大震災から10年を振り返り様々な経験を今と未来に活かす～	2月8日	オンライン	(一財)自治体国際化協会が開催した研修に参加し、震災後10年間の外国人住民の増加・多国籍化に対応した災害対応、地域づくりについて理解を深めた。
やさしい日本語フォーラム	2月9日	オンライン	東京都生活文化局が開催したセミナーに参加し、「やさしい日本語」の活用事例等を学んだ。
市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会	2月27日 2月28日	オンライン	認定NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会が経験と知見を共有・習得するために開催した研究集会に参加した。

(イ) 職場体験等の受入ほか

中学生や大学生に対し、就業体験の場や国際化に関する情報提供を行い、体験を通じて国際交流・国際協力への意識を醸成することにより多文化共生社会実現に向けての理解促進を図ることを目的に職場体験やインターンシップ等を受け入れているものの、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、実施に至らなかった。

(ウ) 市及び公的機関からの文書等翻訳

依頼元	翻訳言語	翻訳内容
千葉市 及び公的機関等	英語・中国語 韓国語・スペイン語 ベトナム語	千葉市特別定額給付金申請周知 / 新型コロナ唾液検査に関する案内 / COVID-19 個別調査票 / 新型コロナウイルス感染症濃厚接触者 PCR 検査受付票 / コロナ感染症対策児童生徒用健康チェック票 / 検査を受けられた皆様へ（心のケア） / 多言語防災メール / 鳥インフルエンザ 健康調査票等 / 抗インフルエンザウイルス薬予防内服予診票 / 千葉市生活ガイドブック / 市内情報案内板翻訳 / 夜間中学校設置に関するアンケート / ゴミと資源物の出し方一覧 / 新型コロナウイルス予防対策注意喚起文 / 違反建築物に係る土地賃貸借契約書の翻訳 / 千葉市保育幼児教育施設外国人児童保護者ニーズ調査票 / 外国人のための防災ガイドブック / 町内自治会加入ちらし / 国勢調査協力お願い文 / 気象警報（大雨・洪水・雷注意報） / 校外学習お知らせ文 / 企業立地課 CEATEC2020 情報（千葉市チャンネル）紹介資料 / 子どもルーム申し込みに伴う就労証明書記載例翻訳 / 千葉市民便利帳 / 生活自立・仕事相談センター案内パンフレット / 千葉市保健所感染症対策課 検体採取方法 / 100 周年記念誌送付状 / 千葉市民便利帳 / 就学支援制度 / アスンシオン市長あいさつ文 / 保育所入所に係る所得証明書・就労証明書 / 敷地内禁煙掲示 / 生活保護のしおり 地域日本語教育推進アンケート 他

(2) 外国人市民支援事業

ア 日本語学習支援

(ア) マンツーマン日本語交流(26組 233回活動)

この事業は、外国人市民の社会参加と自律学習の促進を目指し、あわせて、日本人市民の多文化理解の促進を図り、日本語ボランティアを日本語交流員、外国人学習者を外国人参加者として、日本語の習得だけでなく、日本語を使ってコミュニケーションする力が向上するよう、対話形式の日本語活動として行っているものである。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から令和2年2月から中止していた対面による活動を10月に再開した。

また、パソコンの操作等やオンラインでの会話のコツを紹介する「オンライン日本語交流のための講座」を日本語ボランティア向けに11月から3期開催し、同講座の修了者から、外国人学習者を紹介する形で新規に導入した。（詳細は、「ボランティア研修」に記載）

(イ) 各種日本語クラス(一部文化庁委託事業にて実施)

名称	開催日	参加者 () 内外国人	回数等	講師
にほんごかいわグループ	9月18日～10月16日	7人(4人)	2時間×5回	高木敏子氏
はじめての日本語クラス 1	9月13日～10月10日 1月19日～2月2日	6人(6人) 3人(3人)	2時間×5回	萬浪絵理氏、田中久美氏
はじめての日本語クラス 2	4月6日～5月11日 6月16日～9月17日 10月17日～2月20日 2月5日～3月30日	8人(4人) 3人(3人) 10人(8人) 7人(7人)	2時間×10回 2時間×25回 2時間×25回 2時間×15回	田中久美氏、萬浪絵理氏
日本語初級クラス	6月3日～8月5日 11月10日～1月26日	5人(5人) 8人(6人)	2時間×10回	田中久美氏、萬浪絵理氏

日本語読み書きクラス	10月8日～12月10日 1月7日～3月18日	6人(6人) 6人(6人)	2時間×10回	田中久美氏、萬浪絵理氏、鈴木恵美子(協会職員)
にほんごオンラインおしゃべりかい(再掲)	7月14日～1月5日	52人(52人)	1時間×26回	協会職員が司会進行

イ 外国人生活相談

外国人市民に対し、言語や習慣の違いから生じる日常生活の問題を解決するための窓口を設け、相談の受付及び情報提供を行った。また、電話通訳サービス、市役所コールセンターへの多言語対応や市役所内部署での要通訳への協力を行った。

言語	方法	件数	人数
英語、中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語等	協会窓口、電話、Eメール等	1,156件	942人

また、中国人を集住地区である美浜区の「高浜公民館」で「出張外国人相談」を実施したが、実績はなし。

開催日	場所	件数	人数
毎月1回	高浜公民館	0件	0人

ウ 外国人法律相談

外国人市民が直面する法律的問題を解決するため千葉県弁護士会の協力により無料法律相談を、労働における問題を解決するため千葉県社会保険労務士会千葉支部の協力により無料労働相談を実施した。

法律相談件数：12件(うち夜間3件、土曜日4件)

労働相談件数：3件

エ 外国人留学生交流員(市補助)

市内大学に通う本市在住の私費留学生の学習支援及び、多文化共生社会の実現に寄与する留学生社会のキーパーソンの育成を目的に事業を実施し、1人あたり奨学金60,000円を交付した。

在籍大学	出身地	在籍大学	出身地
神田外語大学	韓国	千葉大学	中国
敬愛大学	ベトナム	千葉大学	中国

オ 災害時外国人市民支援

(ア) 各種防災訓練への参加及び外国人のための防災訓練等

名称	開催日	場所	参加者等() 内外国人
令和元年度発生災害時の外国人支援に係る振り返り会(再掲) 主催：(一財)自治体国際化協会	8月6日	オンライン	協会職員が参加
防災パネル展(外国人市民への防災啓発及び多言語防災メール配信サービスの周知)	10月16日 ～ 3月31日	国際交流プラザ	—
災害時語学ボランティア養成講座	10月17日	オンライン	32人(6人)
千葉市シェイクアウト訓練	11月9日	国際交流プラザ	30人(16人)
千葉市防災会議男女共同参画の視点を取り入れる部会(再掲)	11月	書面	—
多言語防災メール配信サービスへの登録説明及び災害用非常食の配布	11月21日	中央コミュニティセンター6F 国際交流プラザ	30人(20人) 5人(4人)

災害時に外国人支援に従事する関係者向け研修・訓練（再掲） 主催：（一財）自治体国際化協会	1月15日	オンライン	協会職員が参加
災害時に外国人を誰一人残さない～東日本大震災から10年を振り返り様々な経験を今と未来に活かす～（再掲） 主催：（一財）自治体国際化協会	2月8日	オンライン	協会職員が参加
『「外国人の防災」東日本大震災発生から10年』をテーマしたテレビ番組企画に出演し、災害時における外国人支援の重要性について説明した。（再掲） 放送局名 J:COM 千葉セントラル（ケーブルテレビ） 番組名 ジモト応援 千葉つながる News	3月30日（放送日）	オンライン収録	協会職員が出演

(イ) 避難行動要支援者名簿掲載申請手続き及び個人情報の取扱いに関する協定締結（平成26年6月30日）に基づく事業

(ウ) 千葉市災害時外国人支援センターの設置・運営に関する協定締結（平成26年8月28日）に基づく事業

台風12号・14号接近にともなう情報発信及び大雨・強風警報、地震に関する情報発信を協会 Facebook 及びホームページで行った。また、迅速に情報発信が行えるよう、災害時情報発信用の多言語（6言語）テンプレートを作成。なお、作成したテンプレートを使用して、実際の災害時に千葉市災害時外国人支援センターの運営が円滑に行えるよう、震度6弱の震災が起こったことを想定し、国際交流課とともに、センターの設置・運営訓練を実施した。（令和2年7月31日）

千葉市災害時外国人支援センター運営マニュアルを実際の災害時に即したものにするため、運営マニュアルを改訂した。（改訂日：令和3年4月1日）

(3) 市民活動支援事業

ア ボランティアコーディネート

市民が個々に有する能力を有効に活用し、地域に根ざした国際交流・国際協力事業の推進を図るため、ボランティアの登録・コーディネートを行った。令和2年度はコロナ禍により、対面でのボランティア活動による感染リスクを懸念し、予防対策がとれる活動に限定されたこと、また依頼元からのキャンセルも相次いだ。新型コロナウイルス感染症に関する迅速な多言語情報提供や感染者との通訳など緊急性を要する事例にもボランティアの協力を得ることにより迅速に対応できた。また、日本語学習支援は対面だけでなく新たにオンラインでの実施をした。

（令和3年3月末）

内容	登録件数	斡旋依頼件数	活動延べ人数	主な実績
通訳	585	21	30	市内小学校へインドネシア人生徒、イギリス人生徒への学科通訳支援 / 市内中学校での三者面談時通訳 / 社会援護課職員と生活保護制度説明 / 感染症対策課より結核患者へ医師説明通訳 / 花見川区こども家庭課より保護者面談時通訳 / 青葉病院入院患者への医師説明通訳 / 児童相談所より保護者面談時通訳 / 高齢者障害支援課より生活状況調査時通訳 / 法律相談時通訳 / 保健福祉課より児童扶養手当制度説明、予防接種等説明時通訳 他 言語：英語、中国語、ネパール語、タイ語、フィリピン語、インドネシア語、ポルトガル語

災害時語学	224	0	0	—
翻訳	402	55	140	コロナ版児童引き渡し訓練お知らせ文翻訳 / 防災ガイドブック翻訳 / 防災ガイドポータルページ翻訳 / 大使館発行証明書翻訳 / 児童相談所パンフレット翻訳 / 医療政策課新型コロナ週報多言語翻訳 / 市内小学校より校外学習のお知らせ翻訳 / 高齢障害支援課より証明書翻訳 / 大規模災害時モード千葉県 HP 翻訳 / 文化財課より市内文化財説明翻訳 / 幼保運営課より保護者調査票翻訳 / 夜間中学校に関するアンケート翻訳 / 生活情報誌やさしい日本語翻訳 他 言語：英語、中国語、韓国語、スペイン語、ネパール語、フィリピン語、ペルシャ語、ポルトガル語、やさしい日本語
ホームステイ	94	0	0	—
ホームビジット	146	0	0	—
文化紹介	150	3	4	南部青少年センター「キッズイングリッシュ」「英会話入門」講師 / 市内小学校へ文化紹介「開こう！世界のとびら」
日本語学習支援	368	39	267	中国、ベトナム、インド、イラン、韓国、コロンビア、南アフリカ、台湾 他 ※マンツーマン日本語交流 及び 日本語クラス
国際交流支援	410	1	6	千葉ハワイアンマーケット
合計	2,379	119	447	

イ ボランティア研修

日本語交流員研修(文化庁委託事業にて実施)

対面に加え、日本語交流活動の場面を増やすよう、オンラインでの日本語活動をすすめるための講座を実施した。また、昨年度作成したオリジナル教材を使ってクラス運営ができる教師・支援者の育成と、教材の普及を図るための研修を実施した。

講座名	開催日	参加者等 ()内外国人	回数等	講師
オンライン日本語交流のための講座 オンライン	11月24日～12月8日 1月21日～2月4日 2月20日～3月6日	18人(8人) 8人(5人) 19人(8人)	2時間×3回	萬浪絵理氏、 鈴木恵美子 (協会職員)
オリジナル教材『わたしを伝える日本語』を使う日本語教師&支援者研修 オンライン	1月20日～2月24日	47人	2時間×6回	萬浪絵理氏、 西口光一氏

ウ 国際交流・国際協力団体活動助成(市補助)

市内のボランティア団体等による在住外国人支援活動・国際交流・国際協力の促進を図るため、事業に要する経費の一部を助成し、在住外国人支援、地域での多文化理解推進に資する活動を優先的に助成した。

	団体名	事業名	決定額
1	みどり土曜にほんご学級	みどり土曜にほんご学級	55,500
2	美浜こどもにほんご教室	美浜こどもにほんご教室	92,000
3	花見川土曜にほんご教室	外国人市民につながる日本語支援	121,394
4	千葉県 J S L 児童・生徒支援の会	外国につながる児童、生徒のための日本語指導支援事業	178,661
5	センシティ土曜にほんご学級	日本語を母語としない子ども達への支援	93,520
6	千葉県英語通訳会	通訳ボランティア活動の為に英語スキルアップ	21,000

		ップ勉強会	
7	ちば夜間中学をつくる会	ちば自主夜間中学運営	53,619
		合 計	615,694

エ ちば市国際ふれあいフェスティバル支援

新型コロナウイルス感染症の感染防止を鑑み、同フェスティバルの参加団体で構成された「ちば市国際ふれあいフェスティバル運営協議会」の判断により会場での開催はやむを得ず中止としたが、来年度以降も継続して同フェスティバルを開催したいという思いを込めたビデオメッセージを参加団体と共に作成し、YouTube、Facebook、ホームページで配信した。(2月11日より配信開始)

オ 日本語教室ネットワーク

市内の日本語教室26か所(中央区:4、花見川区:5、稲毛区:3、緑区:3、美浜区:10、若葉区:1)の情報を確認し、各団体間のネットワーク化を図った。また、希望団体については、当協会のホームページ上に情報を掲載して紹介する等、利用者の利便を図った。更に、国際交流・協力活動を実施している団体についても、希望団体はホームページ等に情報を掲載し、利用者の利便を図った。

(4) 情報収集・提供及び調査

ア ホームページ運営

協会の活動内容や外国人市民の生活に必要な情報等について、インターネットを通じて幅広く発信した。Facebookを併用することで、情報の提供頻度・量の充実を図った。

特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に関する様々な情報を多言語にて発信した。

内 容	時 期
協会事業、生活情報、イベント情報等を提供 (やさしい)日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語・ベトナム語	通年

イ 協会情報誌発行

協会事業の案内及び報告、国際交流・理解等に関する知識及び意識の向上を図るため、市民向けに日本語情報誌「ふれあい」を発行した。

内 容	発 行	部 数	配布先等
「ふれあい」発行99～101号	8月、12月、3月 (年3回発行)	各3,000部	賛助会員、市内公共施設、 ホームページへの掲載等

ウ 千葉市生活情報誌発行

外国人市民に対し、市民生活に密着した生活情報である市政だより等の有益な情報を外国語に翻訳し、ホームページや各区役所市民総合窓口課、大学等を通して提供した。

言 語	発 行	配布先等
英語	月1回	各区窓口、市内大学、外国人住民が多い地区の公民館、 ホームページへの掲載等
中国語		
やさしい日本語		

また、「ちば市政だより臨時号」等から新型コロナウイルス感染症の対応や支援などの情報をまとめた臨時号を発行した。

発行時期	主な内容	言 語
4月中旬	緊急事態宣言発出について 千葉市の施設について(利用制限、休館など) ステイホームによる運動不足に注意 新型コロナウイルス感染症の相談・質問先について 新型コロナウイルス感染症の新しい情報の入手方法 など	英語 中国語 韓国語 スペイン語 ベトナム語

5月中旬	特別定額給付金のお知らせ (申請方法、詐欺に注意、給付金のQ&A など)	やさしい日本語
12月下旬	年末年始のお願い(感染防止に係る会食、家での注意事項) 千葉市の施設のお休み・イベントの中止 発熱の際の注意事項 多言語による相談窓口の周知 など	
1月中旬	緊急事態宣言再発出について 緊急事態宣言中のお願い(ステイホーム、食事時の感染注意) 千葉市の施設のお休み・イベントの中止 多言語による相談窓口の周知 など	

エ 情報ラウンジ

令和2年度は各国語で新型コロナウイルス感染症予防や連絡先等に関する情報発信を続け、マスク着用や手指の消毒周知のための掲示物により新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めた。

外国語の雑誌・新聞や国際交流・国際協力に関する図書等を配置するとともに、情報コーナーにおいて、協会の多文化共生推進活動やボランティア活動などについての情報提供、市民間の情報交換用ボードを設置するなど外国人市民と日本人市民の交流の場を提供した。

内 容	時 期	場 所
新型コロナウイルス感染症予防のための情報掲示	通年	国際交流プラザ
国際交流・国際協力などに関する関係図書等の配置		
ふれあいボード(市民間情報交換用掲示板)		

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた事業の実施

ア 千葉市国際交流プラザ運営業務

国際交流や外国人市民に対する相談、情報の提供などの場である「千葉市国際交流プラザ」の運営業務を実施した。

令和2年度は、千葉市による新型コロナウイルス感染拡大防止に係る市施設の休館等の措置を受け、プラザの休館や閉館時間を早める等の対応を行った。

通常どおりの開館に戻ってからも、徹底した感染予防対策を行った上で、外国人の相談窓口業務や一部の日本語学習支援、オンラインイベントの収録等を行った。

施設利用状況 (開館日数 293日)

	会議室	国際交流ラウンジ					合 計
		日本語交流活動	外国人相談	多目的スペース	窓口対応	小 計	
件数	986	226	1,156	5,366	1,076	7,824	8,810
人数	6,658	452	942	5,366	1,076	7,836	14,494

4月4日(土) 休館

4月6日(月) 17時閉館(通常は20時閉館)

4月7日(火) 17時閉館(通常は20時閉館)

4月8日(水) 5月25日(月)まで休館

5月26日(火) 以降、通常どおり開館

※休館期間中も、電話やメールによる相談業務を実施していたため、上記の開館日数は休館日を含む日数としている。

イ 国際交流ボランティア育成事業業務

千葉市の「国際交流ボランティアリーダーの育成」事業の一環で、2021年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた外国人来葉者の受入体制強化のため、また地域の多文化共生を支える国際交流ボランティアの育成を通してオリンピック・レガシー創出に努めた。

(ア) 自主学習グループの通訳ボランティア活動及び勉強会

コロナ禍においても、各グループはオンライン勉強会や情報共有を実施、外国人市民等へ自主的に通訳サービスを行うグループの活動範囲が広がり実績が増えた。また、令和2年度にはグループの枠を超えた有志による「英語医療通訳グループ」が千葉市で初めて発足した。メンバーには現役医師や医療通訳有資格者、英語母語話者がおり、実践的な通訳勉強会を実施している。

a 通訳サービスグループ活動内容(抜粋)

団体名 結成年度	通訳支援件数 活動人数	活動内容
CHIEVO (英語) 平成 29 年度	<通訳依頼> 41 件 <活動人数> 75 人 <相談者国籍> アフガニスタン、 米国、ガーナ、 ネパール、中国、 インド、フィジー、 英国、ウガンダ、 マレーシア、 フィリピン 他	通訳サービスは1件の依頼が長期間に渡るものが多く、解決までに数か月に及ぶ場合もある。通訳支援内容も生活不可欠事項であり、一人が複数の問題を抱えている場合は、依頼は1件でも通訳分野が多岐に及ぶ。 ボランティアによる「寄り添い通訳」が細やかな対応をしてくれるため、ワンストップサービスが実現でき、外国人市民等が抱える問題点、課題が見えた。 <主な通訳依頼内容> *救急車手配依頼 *DV被害者の保護、シェルター入所手続き *入管対応 *結核患者への検診通訳 *コロナ禍により帰国できない外国人の航空会社及び入管等との説明 *住民税手続き *交通事故に係る接見時通訳 *保育所入所手続き *小学校にて3か月間授業通訳支援 *新生児ワクチン接種、生活保護、児童扶養手当申請 *婦人科受診時通訳 *小学校親子面談 他
CONESPA CHIBA (スペイン語) 平成 27 年度	<通訳依頼> 452 件 <相談者国籍> ペルー、ボリビア、メ キシコ、ホンジュラス 他	スペイン語圏を母語とする外国人への通訳サービス(医療通訳、税務署、学校関係、労働関係、入国管理事務所や行政窓口手続き等)を行っており、メンバーには元看護師、労働監督署職員OB等がいるため専門的な相談対応実績がある。最も多い実績は医療、病院での診察や医師とのやりとり。令和2年(1年間)には452件の通訳実績があり、毎年通訳実績は400件~500件に上る。 <主な通訳依頼内容> *市役所での各種手続き *入管手続き *税金関係 *年金 *医療(病院での診察、医師等とのやりとり等) *労働関係 *教育(学校での面談、進学等) *住居 *警察 *家庭裁判所 他

千羽会（中国語） 平成 29 年度	千葉県避難所運営委員会マニュアルの中国語翻訳（美浜区内運営委員会依頼）
如家会（中国語） 平成 30 年度	千葉県「避難所は住民の力で～目で見える避難所開設・運営の流れ～」会話集 中国語翻訳
(新)医療通訳 （英語） 令和 2 年度	現役医師、医療通訳有資格者、英語母語話者、通訳ボランティア有志により 結成された。リーダー会議にて医療通訳養成講座を受講し、講師所属 MIC かな がわとの情報交換や現場体験等を共有した。
EIVOC（英語）、千羽会（中国語）、千葉県アミーゴの会（スペイン語）、千葉県韓国語ハナ通訳翻訳 会（韓国語）の翻訳協力で、千葉県医療政策課が発している「新型コロナウイルス感染症に関する 情報（週報）」を多言語で千葉県及び当協会 HP を通じて情報提供することができた。	

(イ) 通訳ボランティアリーダー会議

通訳ボランティア・スキルアップ受講者から成る、13 の自主学習グループの
グループリーダーが参加。今年度は、昨年の台風等被災経験を踏まえて、避難所
運営訓練や、初めて医療通訳養成講座等をオンラインで実施した。

新しい分野の通訳演習の実施や、他グループの事例を共有することで、活動分
野を広げ、活動を促進するようにした。

開催日時	場所・講師等	参加者・内容
7 月 4 日	中央コミュニティセン ター	各グループの活動報告、課題共有、今後の活動展開について 出席者：11 人（7 グループ代表等）
10 月 17 日	講師：千葉県防災対策 課 啓発訓練担当課長 小林洋孝氏 オンライン	講座「地域の防災対策について（コロナ禍対応含む）」 受講者：18 名（内、3 名外国出身者 インド、中国） 効果：災害時に避難支援や情報伝達など、地域で通訳支援できるよ う最新の千葉県地域防災を学んだ。また分散避難者の把握や新 型コロナウイルス感染者対応時の課題を共有・協議した。
10 月 24 日	講師：日本防災士会 東 京都支部長 松井正雄 氏、防災コミュニティ ネットワーク代表 青 木信夫氏、千葉県防災 対策課 啓発訓練担当 課長 小林洋孝氏 オンライン	訓練体験「避難所運営 HUG オンライン訓練」 受講者：14 人（内、2 名外国出身者 インド、中国） 他、外国人職員 3 名（キューバ、マレーシア、中国） 効果：今までにはないコロナ禍での避難所ゾーニングや受付レイア ウトなどの避難者対応をいち早く学ぶことができた。また各 被災地避難所支援経験の豊富な消防士、防災士をリーダーと したことにより専門的なアドバイスを受け、より実践的な対 応策を考えることができた。 3 つの複数グループでの HUG（※）オンライン訓練は全国 初の実施。 ※Hinanzyo（避難所）、Unei（運営）、Game（ゲーム）の 頭文字を取ったもの
11 月 21 日	講師：仙台多文化共生 センター長 菊池哲佳 氏 オンライン	講座「多文化共生時代の地域防災を考えるー通訳ボランティアの役 割と心構えー」 受講者：27 人（内、6 人外国出身者 ベトナム、ネパール、 中国、インドネシア） 効果：東日本大震災時の仙台市の外国人支援事例から非日常である 災害時通訳についてボランティアへ新たな意識付けができ た。多言語シートを用いた外国人支援演習や自治会での情報 交換会にて議題にするなどの提案が参加者アンケートで挙 がった。

1月23日 1部 医療 2部 災害	講師：MICかながわ 鈴木万里子氏 オンライン	講座「コミュニティ通訳養成講座（医療・災害 英語）」 受講者：(医療) 9人、(災害) 9人 効果：医療分野は倫理観、守秘義務、技術について講義で学び、内視鏡検診や看護師問診時について通訳演習、災害分野は仮設住宅申請、避難所でのトラブル対応、等具体的なケーススタディによる通訳演習を外国人市民も含め実施し、各自の課題発見・共有ができた。
2月6日	リーダー報告会 オンライン	出席者：13人（10グループ） 内容：令和2年度開催講座に関する意見交換、各グループ活動報告、令和3年度リーダー会議スケジュール案協議

(2) 文化庁から委託を受けた「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の実施
ア 運営委員会(オンラインにて開催)

開催日	議題及び検討内容	委員名 等
6月3日	1. 事業概要(事業計画・事業内容・事業運営方針)の説明 2. 質疑応答・意見交換	神田外語大学准教授 徳永 あかね氏 (公財) 横浜市国際交流協会 藤井 美香氏
10月28日	1. 実施済み内容報告及び今後の実施計画説明 2. 質疑応答・意見交換	みどり土曜日本語学級 上野 才智子氏 千葉県国際交流課長 東端 真吾氏 千葉県国際交流協会
2月17日	1. 事業実施報告 2. 事業評価 3. 質疑応答・意見交換	日本語コーディネーター 萬浪 絵理氏 常務理事兼事務局長 鈴木 栄一 主査 鈴木 恵美子

イ 日本語教育（内容は、外国人市民支援事業 ア「日本語学習支援」に記載）

- (ア) はじめてのにはんごクラス1
- (イ) はじめてのにはんごクラス2
- (ウ) 日本語初級クラス
- (エ) 日本語読み書きクラス

ウ 支援者研修（内容は、市民活動支援事業 イ「ボランティア研修」に記載）

- (ア) オンライン日本語交流のための講座
- (イ) オリジナル教材『わたしを伝える日本語』を使う日本語教師&支援者研修

エ オリジナル教材の充実

令和元年度に作成したオリジナル教材『わたしを伝える日本語』の充実

- ・本編の補足を記載した別冊を、英語版に加えて中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語版を追加した。
- ・動詞の活用や数字の教え方等を「やさしい日本語」でまとめた資料集を新規に作成した。
- ・外国人学習者向けのガイド（動画）を、新規に英語、中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語で作成した。

第3 賛助会員(令和3年3月末現在)

区分	合計
個人	264人
法人・団体	67団体